

* 古平町子育て支援センター *



令和7年11月27日(木) 発行

冬の訪れを感じる季節になりましたね。寒くなると戸外に出る機会も減ってくる事と思います。そんな時は、支援センターに遊びに来て、こどもたちやお母さん方の発散の場にしてほしいと思います。今後も支援センターの広場や自由開放をご利用ください。お待ちしております。



3歳未満児のことばと心の発達の関係は？

言葉の発達のプロセス

こどもが言葉を話せるようになるには、一定のプロセスがあります。ママやパパとの日常の関わりが学びの機会。繰り返し聞くことで言葉を覚え、発音を反復することで話す力が育っていきます。こどものペースを尊重し、コミュニケーションを楽しみましょう。毎日のコミュニケーションが大切です！

◆シチュエーション別、言葉掛けの参考例



ことばにならぬことばを理解されることで心が発達する。

1ヵ月頃

* ママの笑顔と優しい声が赤ちゃんを安心させます。短い言葉をゆっくり話すと、赤ちゃんは受け止めやすいです。

◆ 例えば・・・「○○ちゃん、オムツ替えるよ。」「おしっこ出たね。」「スッキリ、気持ちいいね。」など

8ヵ月頃

* 赤ちゃんは繰り返しの楽しみます。根気強く付き合うことが、動作とことばを結びます。

◆ 例えば・・・「○○ちゃんのおてて、パチパチパチ、上手だね。」など

理解できても話せない、大人のことに反応し、対話が始まる。

1歳頃

* 食べ物や名前なども伝えながら話し掛けましょう。楽しい食事の雰囲気も大事に。

◆ 例えば・・・「いただきます。」「かぼちゃ、もぐもぐ、美味しいね。」「自分で食べて、エライね。」など

1歳半頃

* 指差しするのは、興味を持っている証拠。視線の先にあるものを説明すると、言葉の理解が広がります。

◆ 例えば・・・「ワンワンだね。」「白くて小さくて、かわいいね。」「ワンワン、大好きだね。」など

もどかしい気持ちを代弁されて、自分の心をことばで理解する。

2歳頃

* 動きを言葉にして伝えましょう。体や手足を動かす遊びと言葉が結びつきます。気持ちや賞賛を言葉で伝えましょう。

◆ 例えば・・・「競争しよう。よい、どん。」「はい。ゴール。早く走ると気持ちがいいね。」など



お知らせ

こども・子育て等に関する相談について

こどもの成長にあわせた相談、育児不安、その他（こどもへの接し方・遊び方・しつけ・離乳食など）の相談を保育士がお受けします。子育て支援センターでの来所相談、電話での相談を行っています。



【古平町子育て支援センター】 ☎0135-42-4151

年末年始の休みについて

12月30日(火)まで支援センターを開放しています。広場については、カレンダーを確認して利用して下さい。12月31日(水)～1月5日(月)まで年末・年始休園です！



絵本の紹介

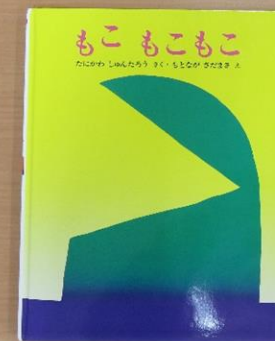
「もこ もこもこ」

作：谷川俊太郎

絵：元永 定正

「きんぎょがにげた」

作：五味 太郎



出てくる言葉は「もこ」「によき」「ぼろり」と奇妙な擬音ばかり。ページをめくるごとに次々に起こる驚きの展開。知らぬ間に絵本の世界に引き込まれて夢中になります。

きんぎょが1匹、金魚鉢からにげだした。どこににげた？カーテン、キャンディのびん、おもちゃのロケットの隣…。ページをめくるたびににげたきんぎょがどこかにかくれます。こどもたちが大好きな絵探し絵本です。

令和7年12月予定

月	火	水	木	金
1 自由開放	2	3	4	5
8 自由開放	9	10	11	12
15 自由開放	16	17	18 行事の広場 誕生会・給食試食会	19 自由開放
22 自由開放	23	24	25	26
29 自由開放	30 開放最終日	31		

※給食試食会に参加を希望する場合は、電話での申込みが必要です。
★何も書いていない日は全て自由開放日です。担当が不在の場合があります。

